

9 増産 文明 (栃木県芳賀郡芳賀町)

品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
北陸193号	約1.34ha	871kg/10a	295kg/10a (576kg/10a) [※]

※作柄調整後の地域の平均単収



【経営概況】

- 家族経営(本人)、農繁期には家族が手伝い
- 新規需要米の制度発足時から、飼料用米の肥培管理に専念するため、あえて主食用米は作付していない

【作付品目】

- 飼料用米:北陸193号 1.34ha
- 自家用野菜 0.15ha

【取組のきっかけ】

- 平成30年産まで「あさひの夢」を作付していたが、近隣の大規模農家から「北陸193号」を紹介され、多収が期待できる等の理由により、令和元年産から作付けしている。

栃木県

芳賀郡芳賀町



【取組概要】

- 令和3年産は、生育ステージ毎の水管理や追肥等のタイミング、天候などが味方して多収となったと感じている。栽培技術は、特に変わったことは行っていないが、毎日朝晩の水管理や、病害虫防除のためのこまめな畦畔の草刈り等、基本的なことを徹底している。水管理については、9月1日が用水切り上げであるが、ほ場の具合を見ながら極力水切りを遅くした。
- 稲わらを10aあたり450kgすき込み、稲わらの腐熟を促進するため、収穫後直ちに数回の耕起を行い、年明け後も数回の耕起を行っている。
- 北陸193号は、穂重型品種のため穂数が少なく、極端な疎植では穂数不足で収量が低くなる場合があるため、株数を50株～60株/坪で調整しながら田植を行っている。
- 施肥管理は、田植え前に、多収品種専用一発肥料(BB飼料用米211)をブロードキャスターにより10aあたり50kg全層に施肥。追肥として、輸入尿素(窒素46)を10aあたり2.5～3kg使用。輸入尿素は、粒が大きく背負い型動力散布機で散布した場合、水田に入らなくても畦畔から遠くまで飛ばすことが可能なため、作業の省力化になっている。また、収穫前に立毛乾燥を行い、乾燥コストを抑えている。
- 農業関係者と密に意見交換を行い、新しい品種の導入や効果的な栽培方法を実践している。